

## 目次

### 研究Ⅰ「震災当初から継続している災害ボランティア組織への参与観察」

#### 組織の動向

渥美公秀 災害ボランティアの10年:災害NPOを含む災害救援システムの現状と展望 日本グループ・ダイナミクス学会第52回大会論文集 神戸国際会議場

渥美公秀 続・ボランティアの知:震災10年を前に 組織学会2005年度年次大会,2004.

渥美公秀 災害ボランティアの現状:震災から8年を経て 聖母被昇天紀要,2003

#### 災害救援の現状

##### 新潟県中越地震(2004年10月23日)

渥美公秀 ボランティア活動の活発な展開:新潟県中越地震を事例に 21世紀ひょうご, 91, pp.14-21, 2005.

##### イラン南東部地震(2003年12月26日)

渥美公秀 12.26 イラン南東部地震:協働想起のツールとしての絵画展 質的心理学会第1回大会 京都大学

##### 宮城県北部地震(2003年7月26日)

渥美公秀・鈴木勇・菅磨志保・柴田慎士・杉万俊夫 災害ボランティアセンターの機能と課題:宮城県北部地震を事例として 京都大学防災研究所年報, 47-B, pp.81-87, 2004.

##### 東海豪雨(2000年9月11日)

渥美公秀・杉万俊夫 災害救援活動の初動時における災害NPOと行政との連携:阪神・淡路大震災と東海豪雨災害との比較から 京都大学防災研究所年報, 46B, pp.93-98, 2003.

##### 台湾集集大地震(1999年9月21日)

渥美公秀 台湾集集大地震における救援活動の記録 SYN(大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学講座紀要), 4, pp.189-206, 2003.

### 研究Ⅱ「災害ボランティア組織のネットワークの動向調査(1)」

鈴木勇・菅磨志保・渥美公秀 日本における災害ボランティアの動向:阪神・淡路大震災を契機として 実験社会心理学研究, 42(2), pp.166-186, 2003.

Atsumi, T. & Suzuki, I. A Nationwide Network of Disaster NPOs to Cope with Regional Vulnerability in Japan. The Third DPRI-IIASA International Symposium on Integrated Disaster Risk Management: Coping with Regional Vulnerability. Kyoto, 2003.

研究Ⅲ「災害ボランティア組織のネットワークの動向調査(2)」

鈴木勇・渥美公秀 「集合的即興」の概念から見た災害救援に関する研究 ボランティア学研究, 2, pp.61-86, 2001.

研究Ⅳ「平常時の災害ボランティア組織が行う活動調査」

渥美公秀 災害ボランティアの現状 亀田弘行編 総合防災学への道 印刷中

杉万俊夫・渥美公秀・井上雄策 市民参加による社会的防災力の強化と災害救援 NPO の役割—NPO「レスキューストックヤード」の事例研究 京都大学防災研究所年報, 46B, pp.99-104, 2003.

高玉珠・渥美公秀・加藤謙介・関嘉寛 台湾集集大地震における慈済功德会の活動 ボランティア学研究, 5, pp.147-164, 2005.

研究Ⅴ「災害ボランティアに関する理論構築」

研究の枠組み

渥美公秀 ボランティア活動研究の現状と今後の理論的課題：社会心理学とグループ・ダイナミックス ボランティア活動研究, 11, pp.29-37, 2002.

渥美公秀 ボランティア研究の展開：物語の設計科学に向けた議論 SYN（大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学講座紀要）, 3, pp.7-16, 2002.

ボランティアの動機

Atsumi, T. Socially Constructed Motivation of Volunteers: A theoretical Exploration. Progress in Asian Social Psychology, in press.

体験の語り

渥美公秀 語りのグループ・ダイナミックス：語るに語り得ない体験から 大阪大学大学院人間科学研究科紀要, 30, pp.159-173, 2004.